

# 両津病院WLBニュース

## だちかんちゃ



発行  
両津病院ワークライフバランス  
推進プロジェクトチーム

## インデックス調査から見えた『現状と課題』



9月15、16日に佐渡地区のWLBワークショップが開催され、プロジェクトチーム全員と石塚院長が参加しました。ワークショップはインデックス調査結果を見て、両津病院の強みと弱み（問題点）を取り出す現状分析を行い、優先すべき課題を話し合いました。この課題からは両津病院が取組むべき対策のヒントが見てとれます。また、同時にWLB推進事業の一つの区切りとなる3年後のゴールを考えてみました。

### 現状分析

#### <病院>

- ・常勤の小児科医がいる。地域の信頼が厚く、島内全体から患者が来ている。
- ・制度によって労働環境が整っている。年休も取得でき、他に夏季休暇、リフレッシュ休暇がとれている。
- ・WLB事業に院長がオブザーバーとして積極的に参加し、理解していただいている。
- ・制度の理解が進んでいない。（例えば時短勤務を理解していない 66.0%）

#### <看護部>

- ・子育てしながら、長く勤めている。勤続年数20年以上が46.8%いる。
- ・退院支援ができています。・訪問看護、往診の連携により困難事例を解決している。
- ・院外研修の積極的支援ができています。
- ・現在の健康状態が不調である。（48.3%のうち非常に不調な者は2名、腰痛68.1%）
- ・定時で業務が終われない。（68.1%）・就業前の残業がある。（27名、57.4%）
- ・病院の将来に不安がある人。（76.6% 30,40代は100%不安を感じている）
- ・仕事内容に対して今の給与は妥当でないと考えている（74.4%）
- ・休憩時間が1時間とれていない。
- ・現在の仕事が将来に繋がる仕事と思わない。（66.0%）
- ・介護を必要とする家族がいる18名(38.3%)
- ・看護職員が大切にされていないと思う。（51.0%）



### 課題

- ・職員全体に施設の方針が周知されていない。
- ・定時で終われない原因がはっきりしない。
- ・30代、40代が病院の将来に不安がある。（100%）
- ・看護職員が大切にされていないと感じている人が半数いる。
- ・職員全体に制度（育児、介護、各種休暇制度）が周知徹底されていない。
- ・健康状態（腰痛、肩こり、疲れ目）に不安があるので労働安全衛生委員会を機能させる。

### 3年後の ゴール

- ・40代以下の看護師を年に2人以上採用する。
- ・組織に大切にされていると感じる職員が70%以上になる。
- ・長く勤めたい、という比率が維持されている。（現在63.8% 70%をキープ）
- ・30,40歳代が持つ病院の将来に不安がない、という比率を50%以上とする。
- ・「現在の働き方に満足している」という気持ちが70%以上になる。



プロジェクトチームのメンバーは、山下部長、三好副部長、鈴木主任、石井看護師、笠井技師長、石塚技師長、金子課長の7人で、チームリーダーを石井看護師が勤めます。また、オブザーバーとして石塚院長に参加していただいています。

